

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

注意

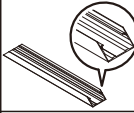
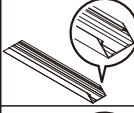
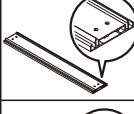
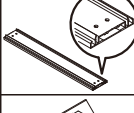
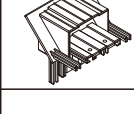

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

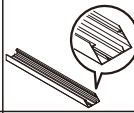
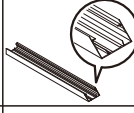
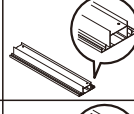
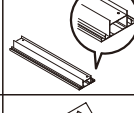
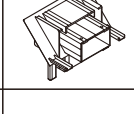

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細表

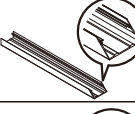

【1】 フレーム 35×80

名 称	略 図	員 数	
		W08	W12
35×80 フレームW08		1	—
35×80 フレームW12		—	1
35×80 フレームカバーW08		1	—
35×80 フレームカバーW12		—	1
35×80 柱フレーム接続部品		2	2
【1-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種 D=8		8	8
取付説明書<B096>	—	1	1
取扱説明書<UC032>	—	1	1

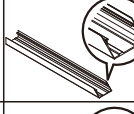
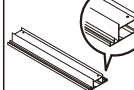
【2】 フレーム 50×120

名 称	略 図	員 数	
		W08	W12
50×120 フレームW12		1	—
50×120 フレームW20		—	1
50×120 フレームカバーW12		1	—
50×120 フレームカバーW20		—	1
50×120 柱フレーム接続部品		2	2
【2-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種 D=8		8	8
取付説明書<B096>	—	1	1
取扱説明書<UC032>	—	1	1

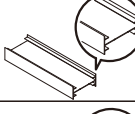
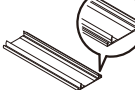
【3】 柱 35×80

名 称	略 図	員 数
35×80 柱		1
35×80 柱カバー		1

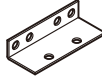
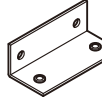
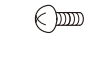
【4】 柱 50×120

名 称	略 図	員 数
50×120 柱		1
50×120 柱カバー		1

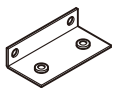

【5】 中棧 35×77

名 称	略 図	員 数
35×77 中棧 L2000		1
35×77 中棧カバー L2000		2

【6】 フレーム連結部品セット

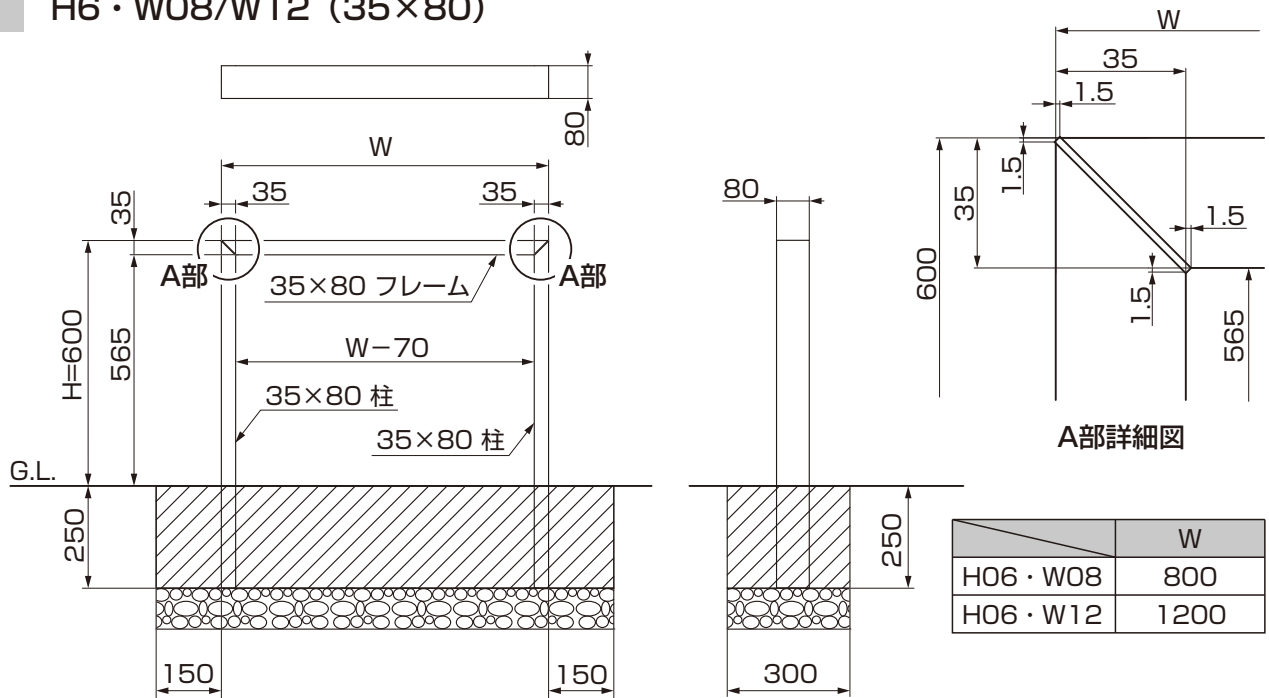
名 称	略 図	員 数	
		35×80	50×120
35×80 連結部品		1	—
50×120 連結部品		—	1
【6-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種 D=8		8	8

【7】 中棧取付部品セット

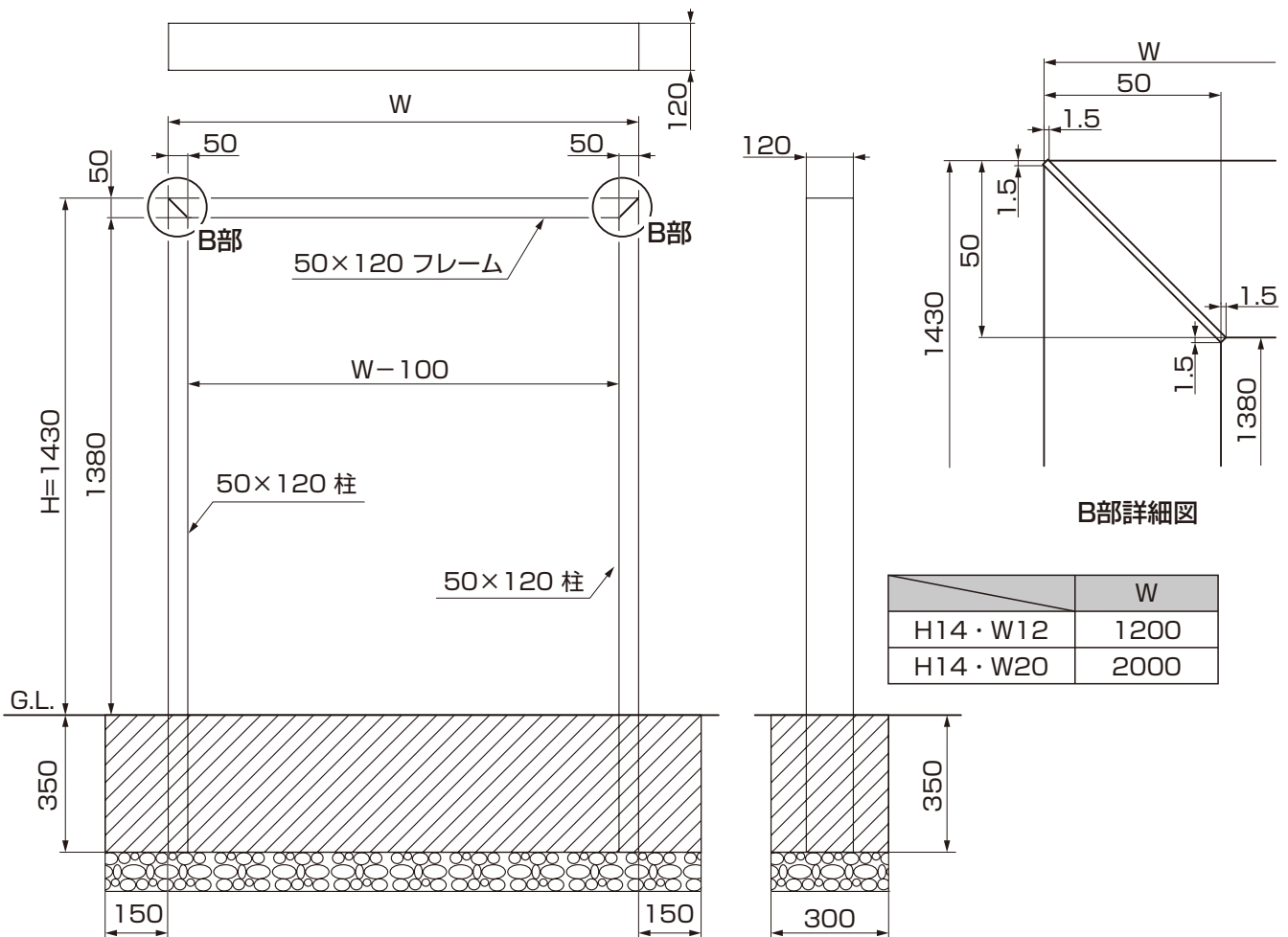
名 称	略 図	員 数
中棧取付部品		2
【7-1】φ4×8トラス タッピンネジ3種 D=8		8

1. 各部の名称

1-1 H6・W08/W12 (35×80)



1-2 H14・W12/W20 (50×120)

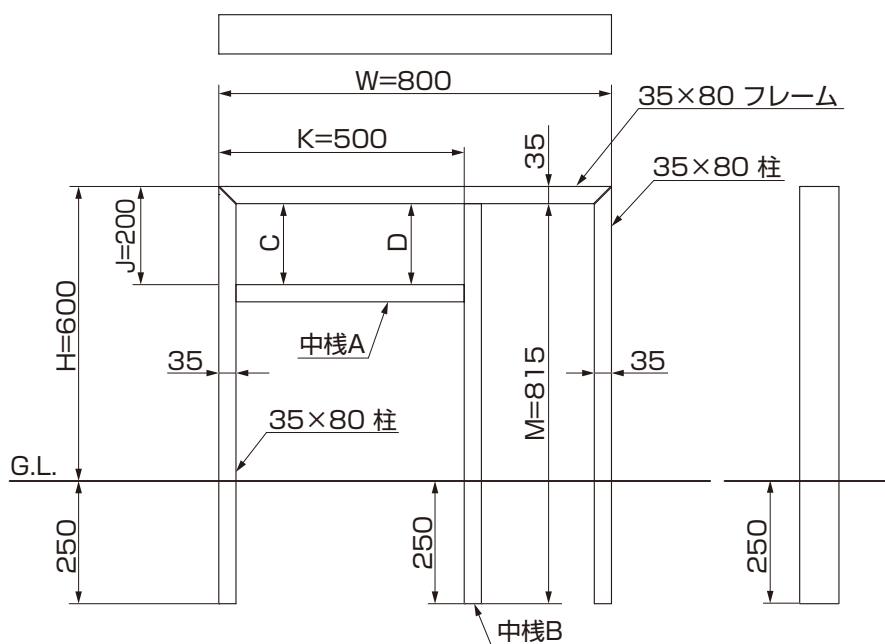


2. 施工前の準備 (35×80の場合)

ポイント

- 中棧のレイアウトは現場でお客様のご希望によるデザインを設計してください。

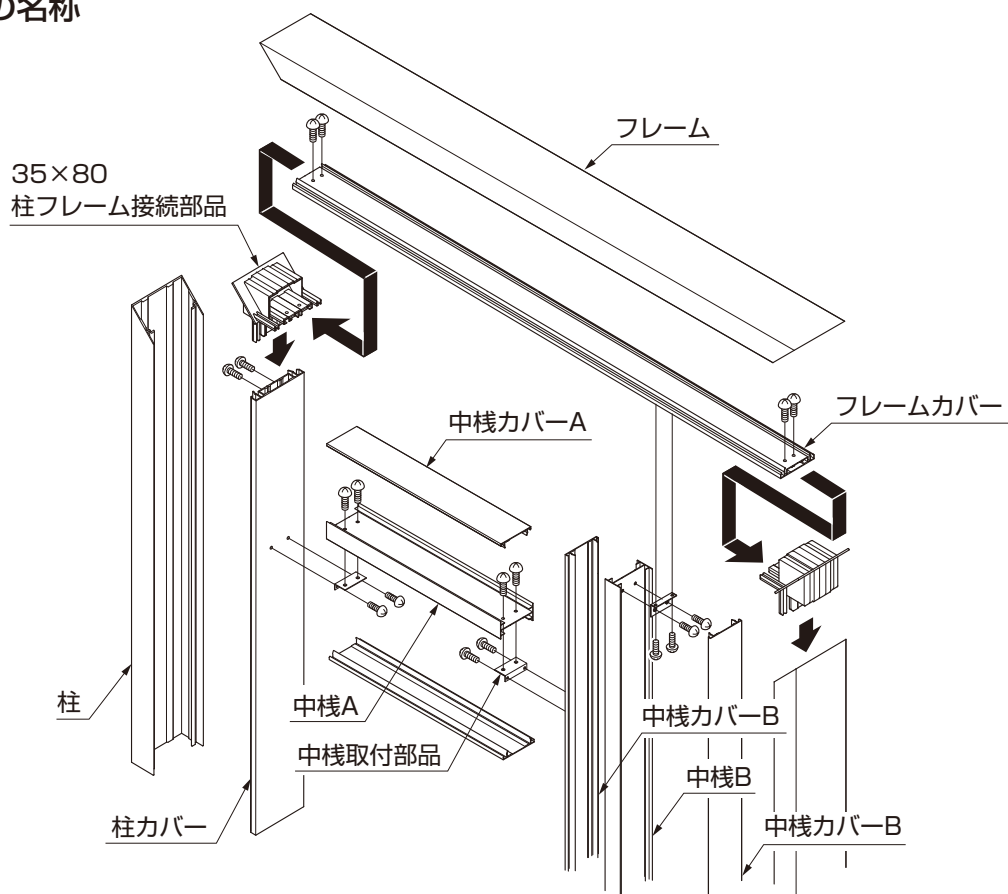
2-1 基本図 (施工例1)



補足

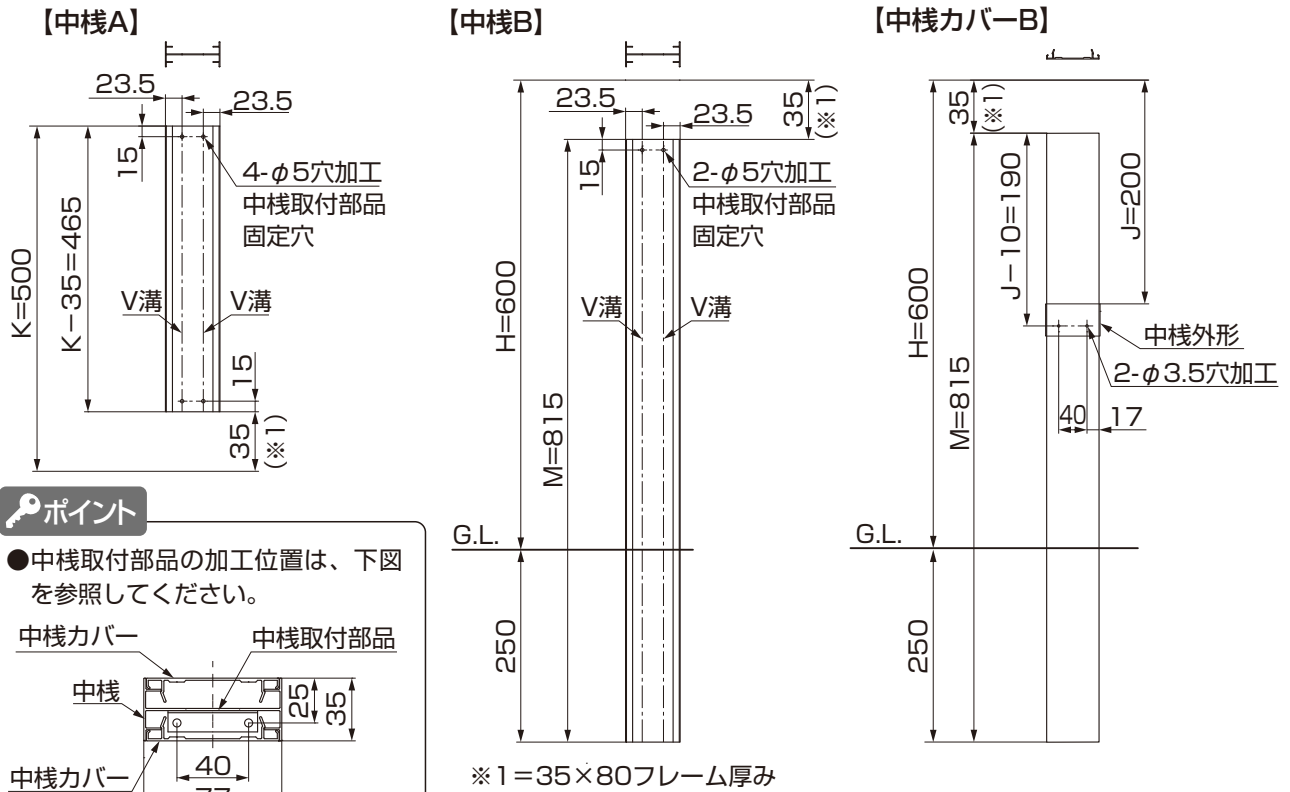
- 左図に記載されている 35×80 柱の加工位置 C と中棧の加工位置 D では、柱-フレームのキャップの納まりから 1.5mm の差が生じます。(P.4 A部詳細図参照)

2-2 各部の名称

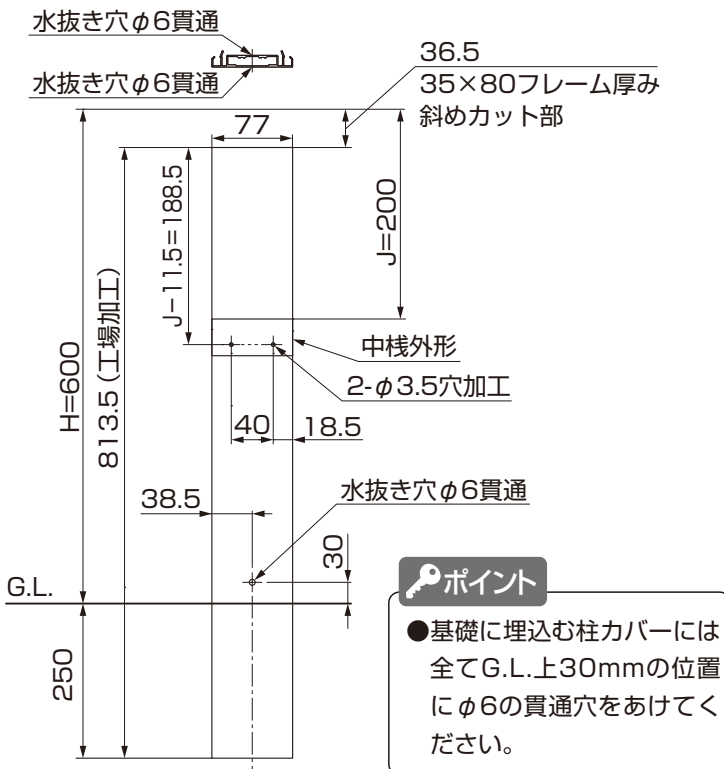


2-3 部材の加工（※施工例1の場合の加工図）

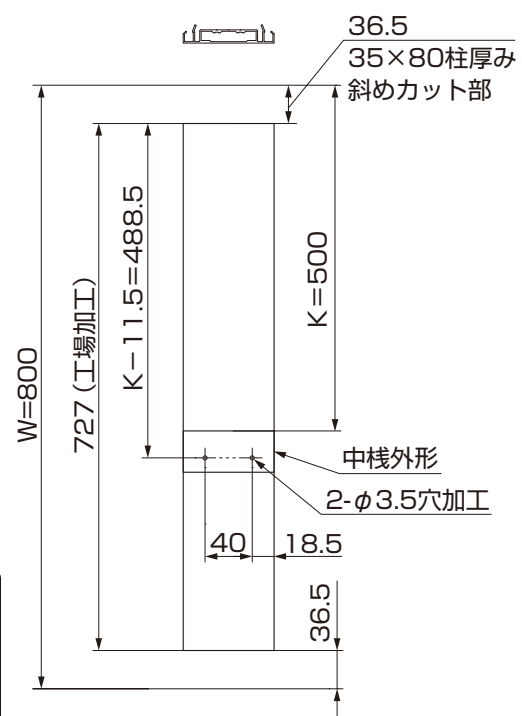
(1) 中棧の加工



(2) 35×80柱カバーの加工



(3) 35×80 フレームカバーの加工

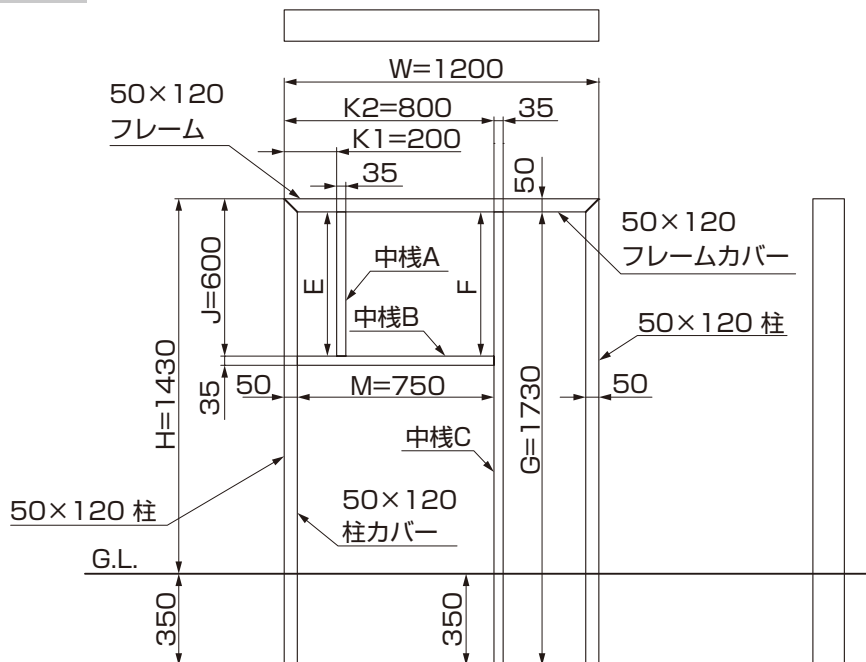


3. 施工前の準備 (50×120の場合)

ポイント

- 中棧のレイアウトは現場でお客様のご希望によるデザインを設計してください。

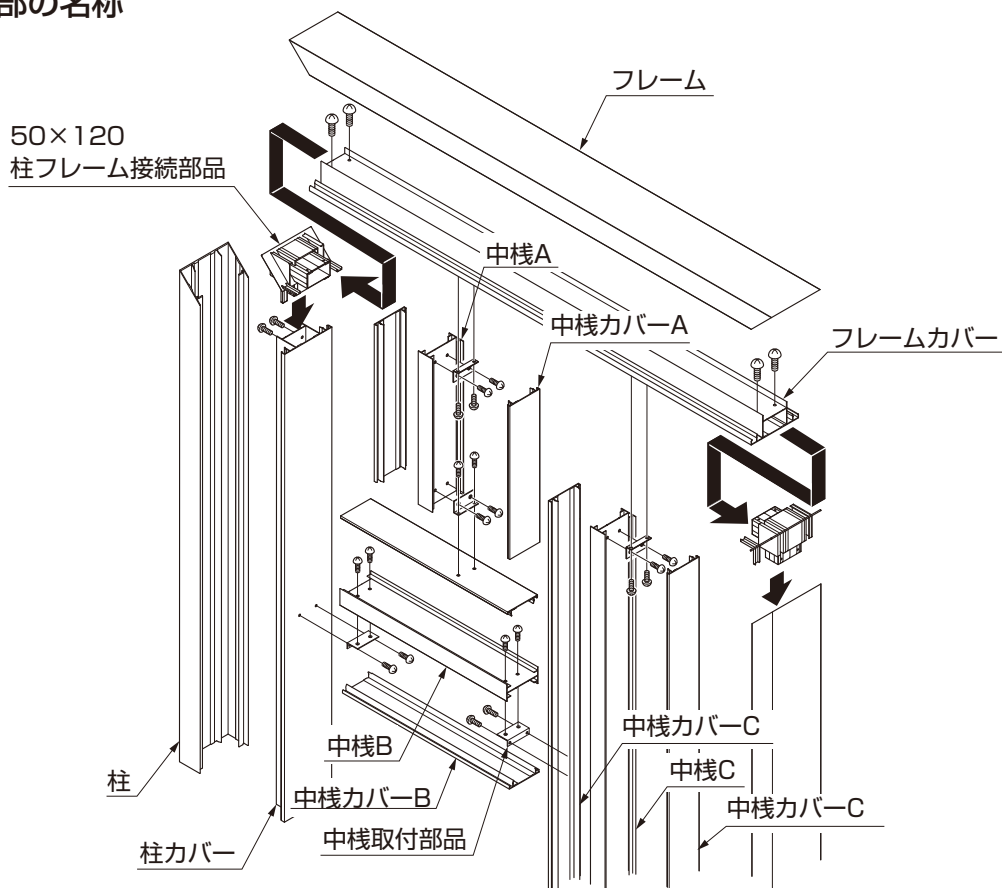
3-1 基本図 (施工例2)



補足

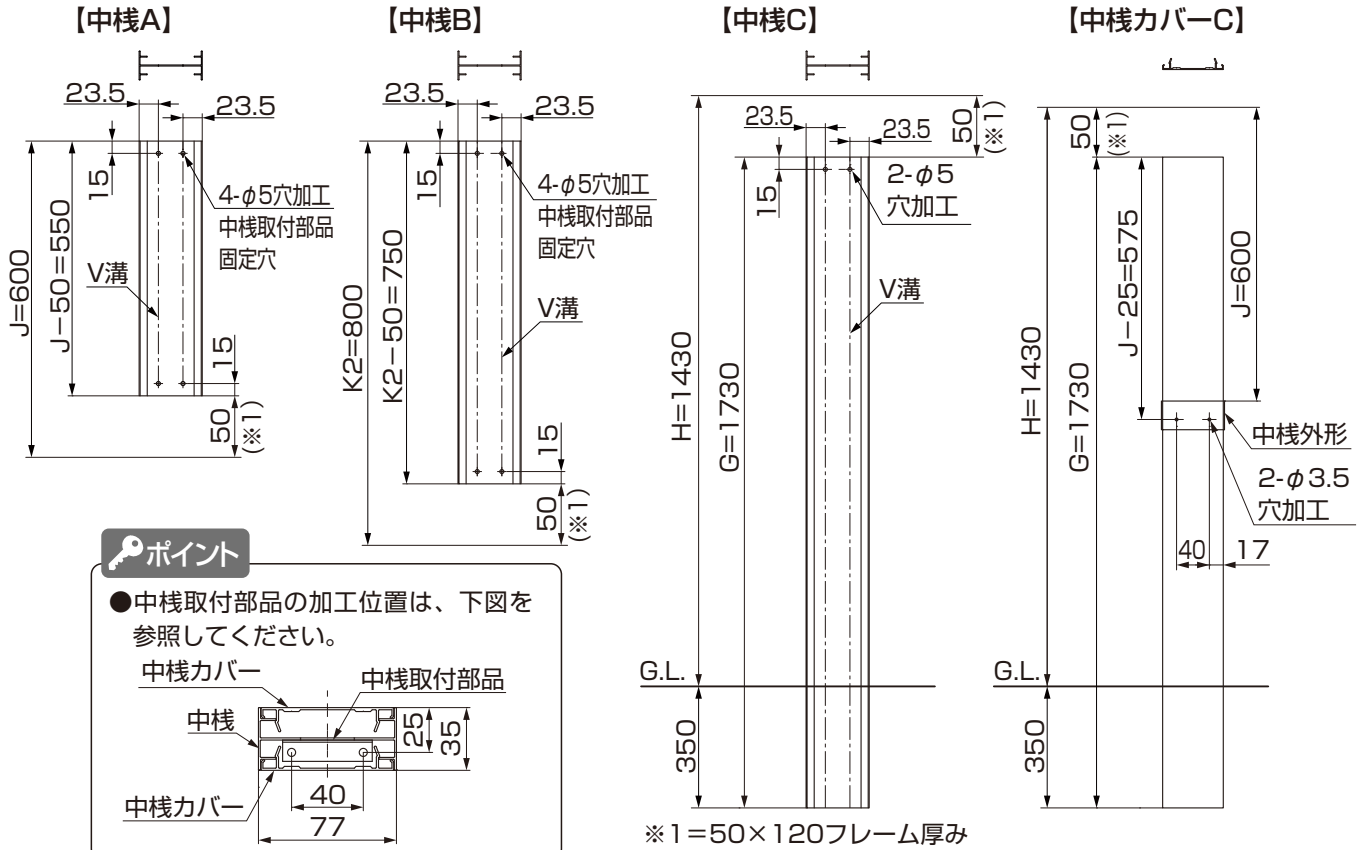
- 左図に記載されている 50×120 柱の加工位置Eと中棧の加工位置Fでは、柱-フレームのキャップの納まりから 1.5mm の差が生じます。(P.4 B部詳細図参照)

3-2 各部の名称

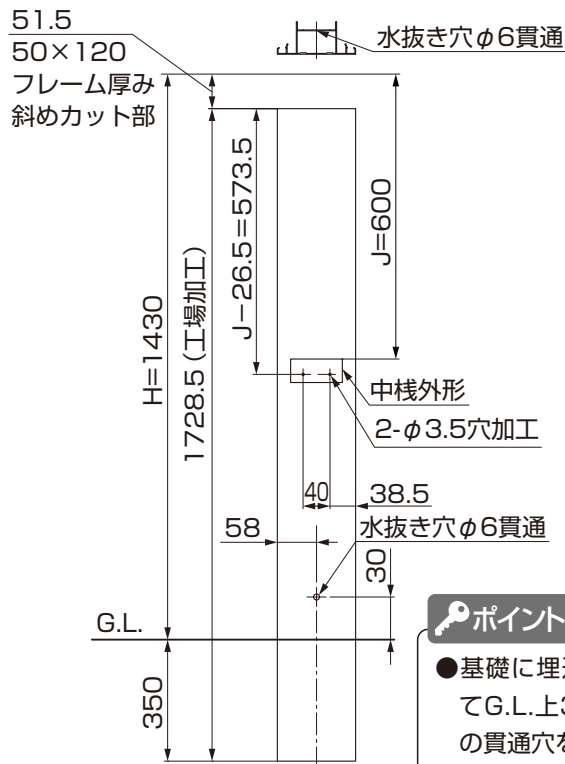


3-3 部材の加工 (※施工例2の場合の加工図)

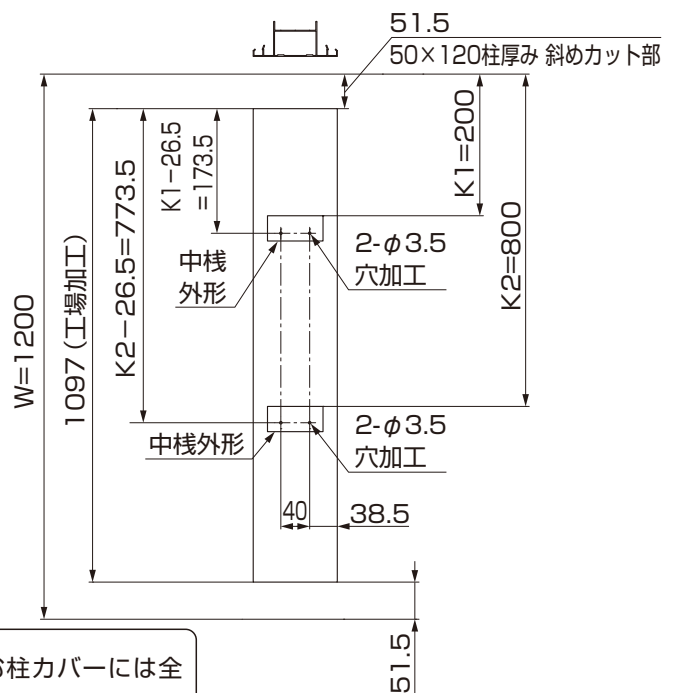
(1) 中棧の加工



(2) 50×120 柱カバーの加工



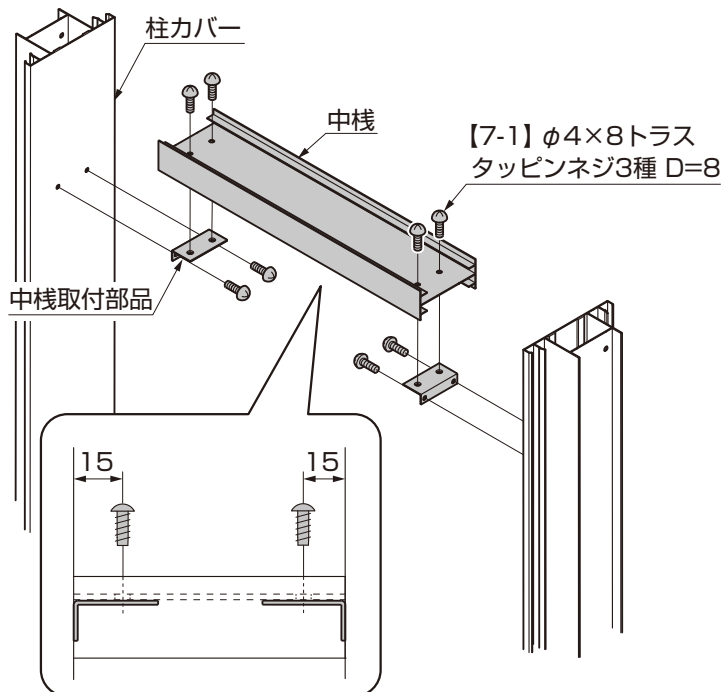
(3) 50×120 フレームカバーの加工



ポイント
 ●基礎に埋込む柱カバーには全てG.L.上30mmの位置にφ6の貫通穴をあけてください。

4. フレームの組立て

4-1 中棧の組立て

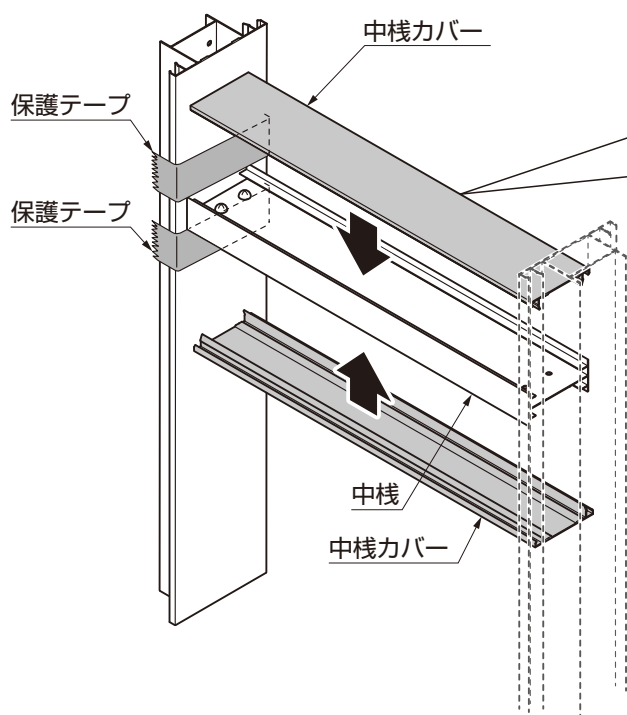


①中棧取付部品を柱カバーに【7-1】で取付けてください。

②中棧を中棧取付部品に【7-1】で取付けてください。

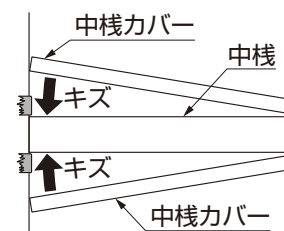
【組付け推奨トルク】
1.5N/m±0.5N/m (15±5kgf·cm)

4-2 中棧カバーの取付け



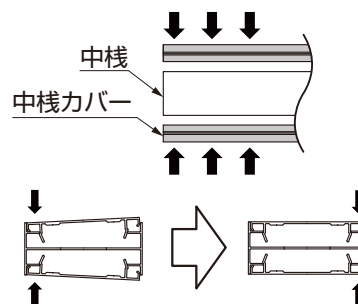
ポイント

●中棧と中棧カバーをはめるときに、キズがつかないように保護テープ等を貼ってから、中棧カバーをはめてください。



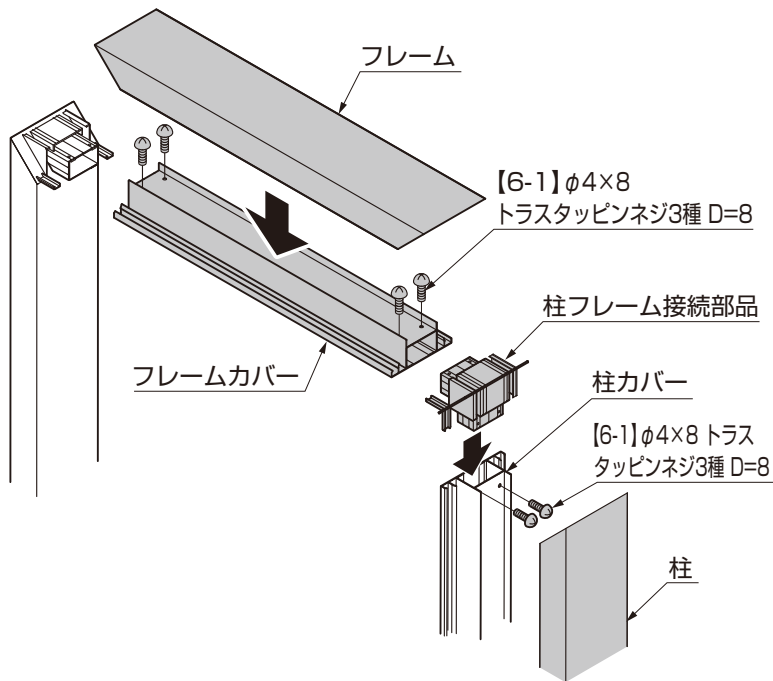
ポイント

●中棧と中棧カバーは片側ずつパチンというまで、まんべんなくはめ込んでください。



①中棧カバーを中棧の両面にパチンというまで強くはめ込んでください。

4-3 フレームの取付け



① 柱フレーム接続部品を柱カバーに組み付け【6-1】で固定してください。

【組付け推奨トルク】

1.0N/m±0.3N/m (10±3kgf·cm)

② フレームカバーを柱フレーム接続部品に組付け【6-1】で固定してください。

【組付け推奨トルク】

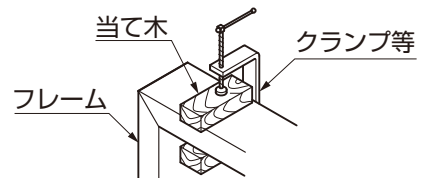
1.0N/m±0.3N/m (10±3kgf·cm)

③ 柱を柱カバーにはめ込んでください。

④ フレームをフレームカバーにはめ込んでください。

ポイント

● 当て木などで傷・凹みなどがつかない様に注意しながら、クランプ等を使ってフレームとフレームカバーをはめ込んでください。

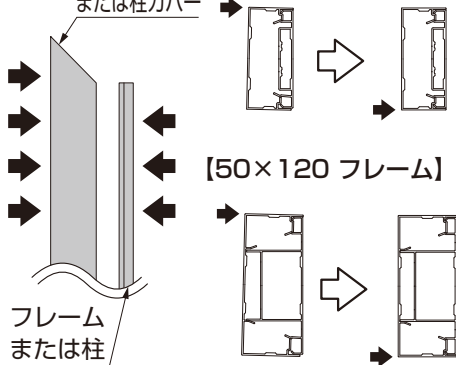


ポイント

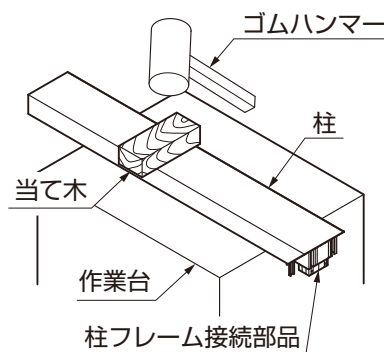
● 柱またはフレームは片側づつパチンというまでまんべんなくはめこんでください。

フレームカバー 【35×80 柱】

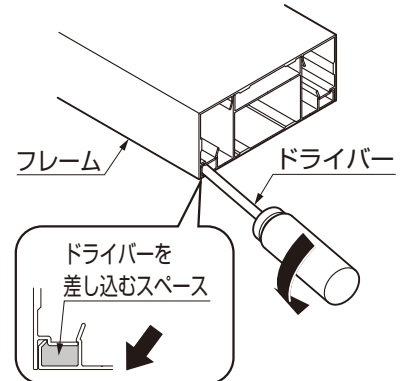
または柱カバー



● 作業台等の上で、当て木などで傷・凹みなどがつかない様に注意しながら、図の位置をゴムハンマーで叩いてはめ込んでください。



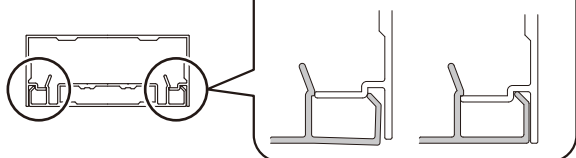
● 50×120フレームを誤ってはめ込んでしまった場合は、ドライバー等を差し込んで図の方向へひねりながら外してください。



ポイント

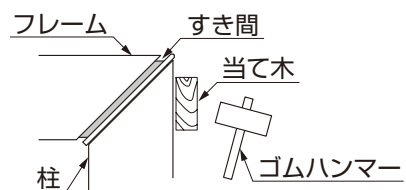
● フレーム・フレームベースのかん合には脱落防止を強化している為、かん合が硬くなっています。はめ込む時はパチンという音になるまで押込んでください。

【かん合不足】 【正常なかん合】



注意

● コーナーにすき間があった場合は、必ず当て木などで傷・凹みなどがつかない様に注意しながら軽く叩いてはめ込んでください。すき間があると材材の切断面の角で怪我をする場合があります。



5. フレームとフレームのコーナー連結

5-1 フレームへの連結

ポイント

●柱フレーム接続部品はアルミ型材の切断面を保護するためフレーム・柱外形より1mm程度大きくしています。連結部品を使って面合わせをしたときに柱フレーム接続部品が干渉する場合は、ヤスリ・カッター等で干渉部分を削り落としてください。

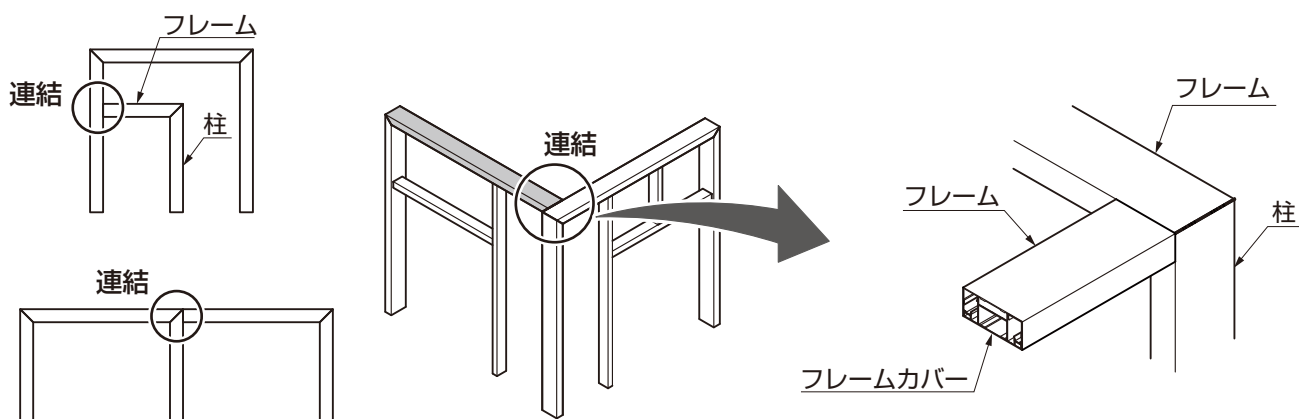
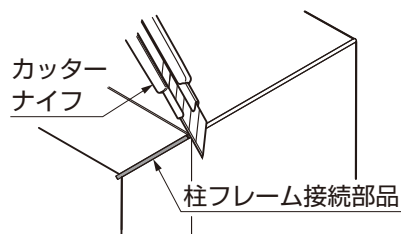


図5-1 完成イメージ

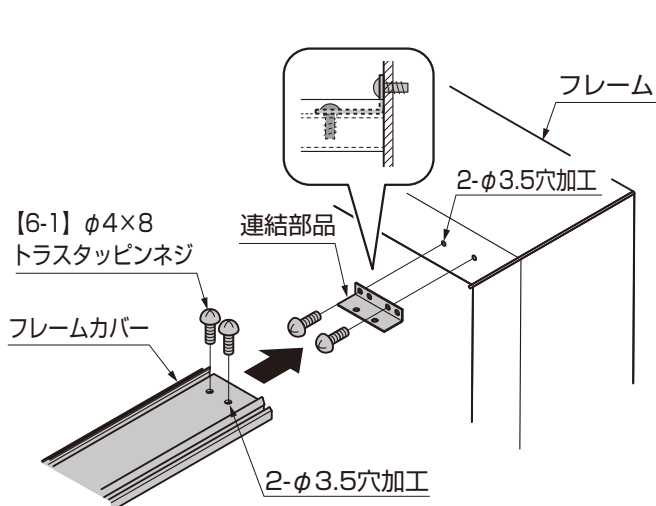


図5-2 35×80 連結部品の場合

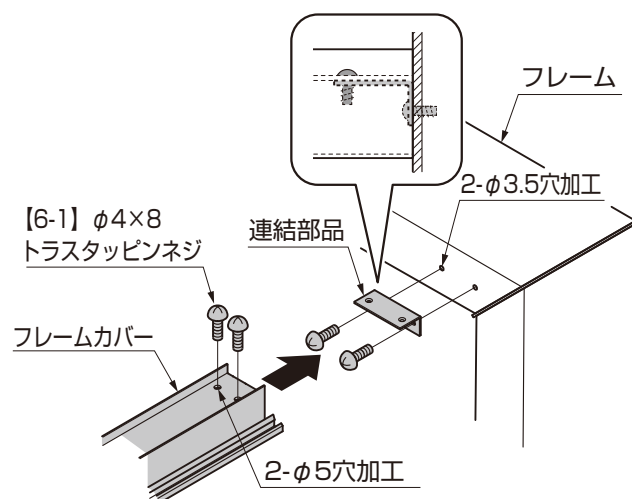


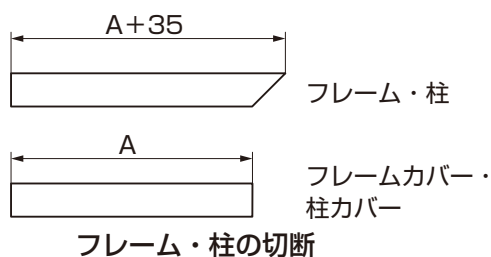
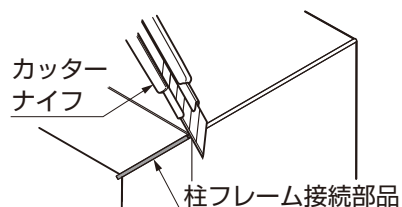
図5-3 50×120 連結部品の場合

- ①連結部品をフレームに【6-1】で取付けてください。
 - ②フレームカバーを連結金具に【6-1】で取付けてください。
- 【組付け推奨トルク】 1.5N/m±0.5N/m (15±5kgf·cm)

5-2 35×80 フレームを連結する場合

ポイント

●柱フレーム接続部品はアルミ型材の切断面を保護するためフレーム・柱外形より1mm程度大きくしています。連結部品を使って面合わせをしたときに柱フレーム接続部品が干渉する場合は、ヤスリ・カッター等で干渉部分を削り落としてください。



フレーム・柱の切断

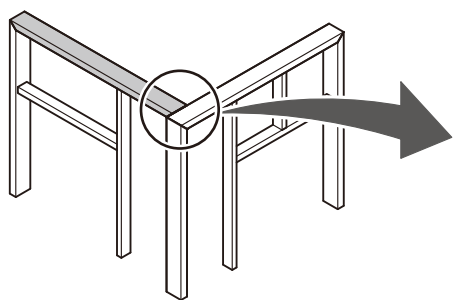


図5-4 完成イメージ

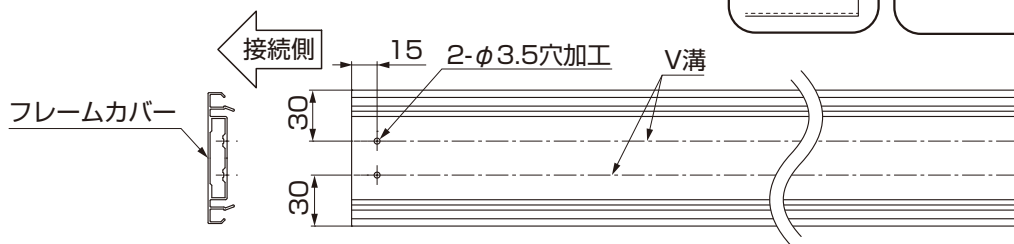
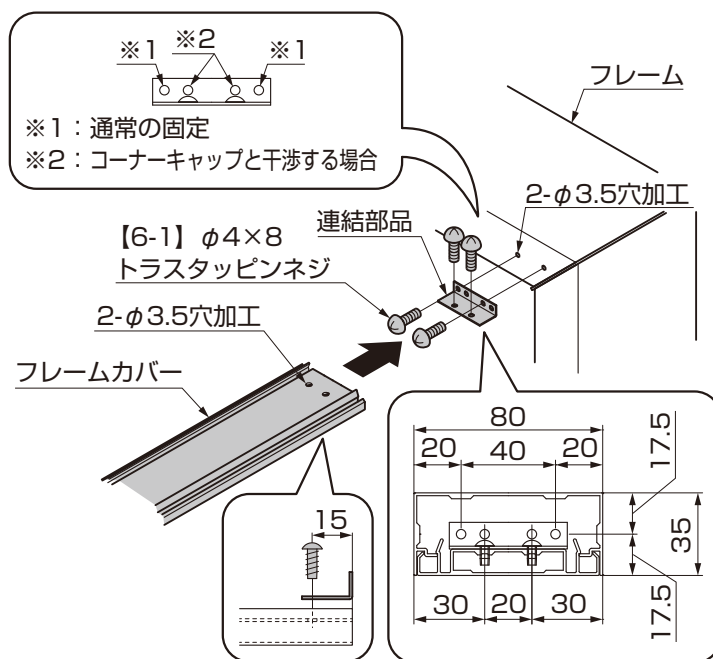


図5-5 フレームカバーの加工

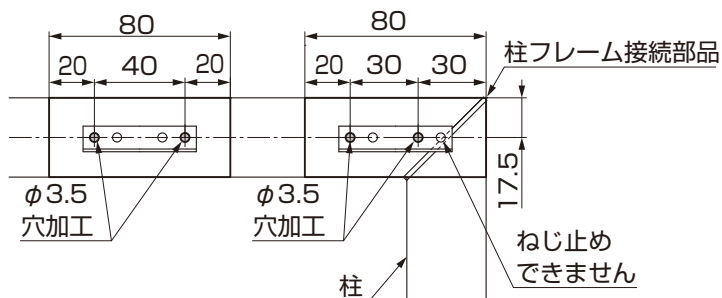


図5-6 正面・背面に連結する場合

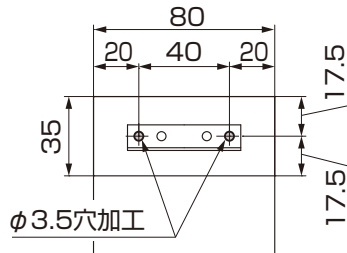


図5-7 側面に連結する場合

- ①フレームカバーを加工してください。
 - ②連結部品をフレームに【6-1】で取付けてください。
 - ③フレームカバーを連結部品に【6-1】で取付けてください。
- 【組付け推奨トルク】 1.5N/m±0.5N/m (15±5kgf・cm)

5-3 50×120 フレームを連結する場合

ポイント

●柱フレーム接続部品はアルミ型材の切断面を保護するためフレーム・柱外形より1mm程度大きくしています。連結部品を使って面合わせをしたときに柱フレーム接続部品が干渉する場合は、ヤスリ・カッター等で干渉部分を削り落としてください。

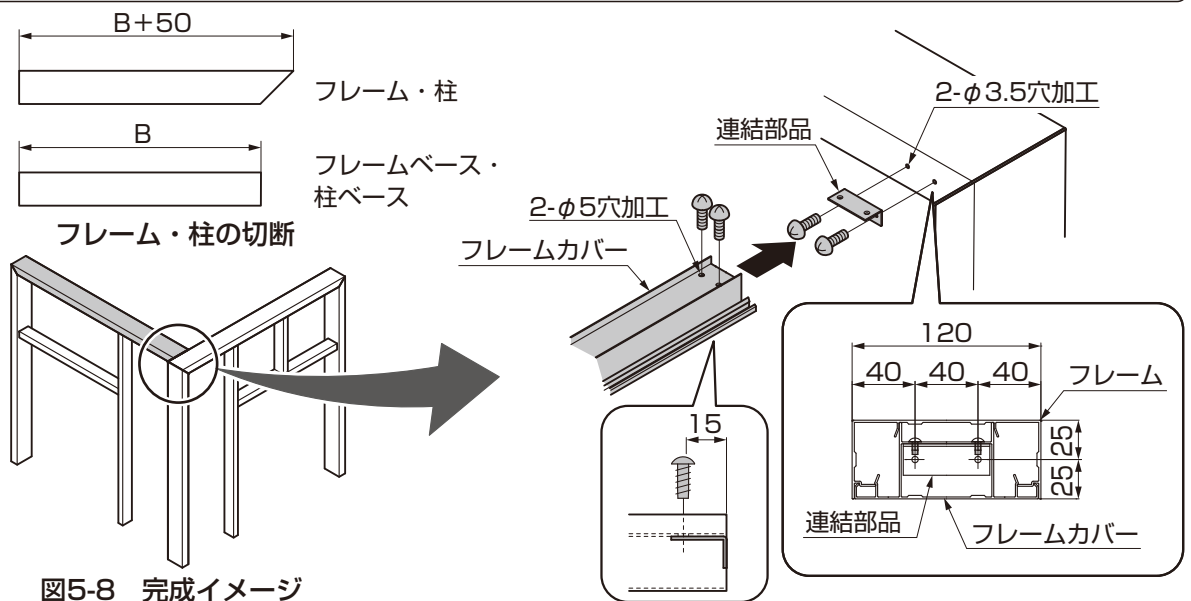
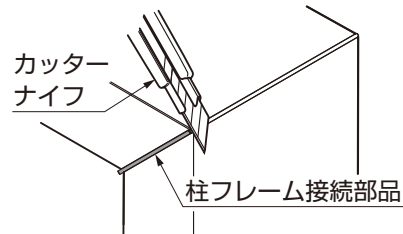


図5-8 完成イメージ

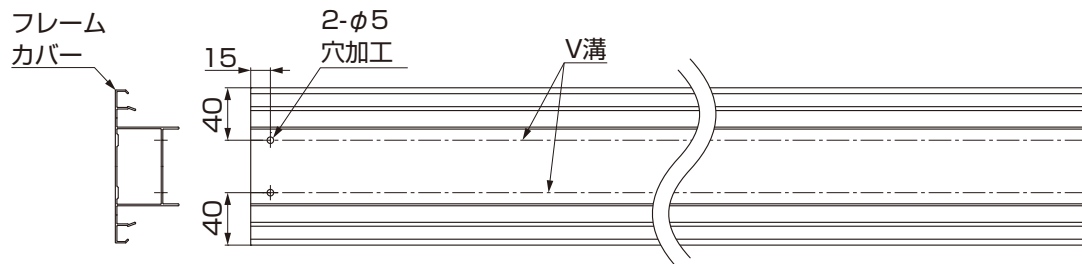


図5-9 フレームカバーの加工

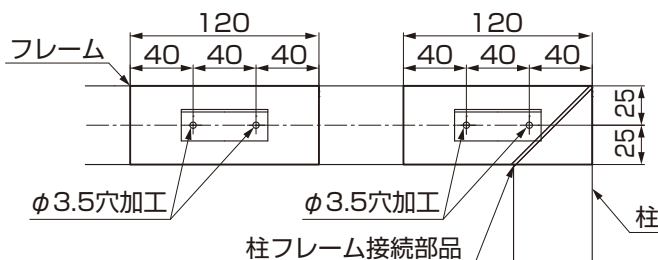


図5-10 正面・背面に連結する場合

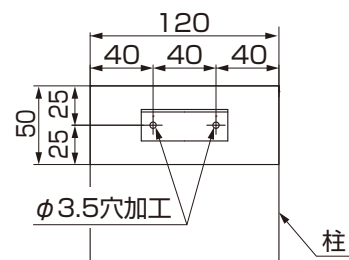


図5-11 側面に連結する場合

- ①フレームカバーを加工してください。
 - ②連結部品をフレームに【6-1】で取付けてください。
 - ③フレームカバーを連結部品に【6-1】で取付けてください。
- 【組付け推奨トルク】 1.5N/m±0.5N/m (15±5kgf・cm)

6. 基礎工事

ポイント

- フレーム・柱・中棧がすべて組みあがったら添え木等でしっかり固定してから基礎施工をしてください。

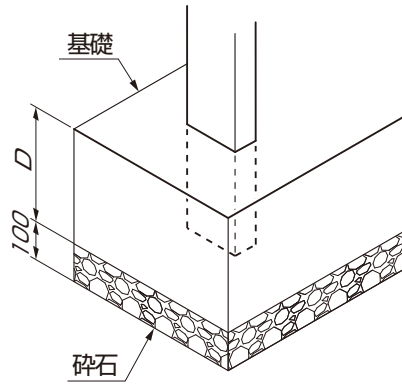


図6-1 基礎深さ

表6-1

サイズ	D
35×80 H06	250
50×120 H14	350

- ①基礎を掘り、碎石を敷いてください。
- ②枠を基礎に建込み、基礎を打設してください。

7. 中棧取付部品・フレームの連結部品用下穴加工型紙

ポイント

- $\phi 3.5$ の下穴をあけるときの目安にこの型紙を切取って使用してください。

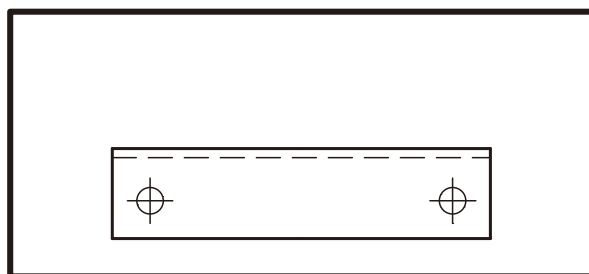


図7-1 中棧取付部品用下穴

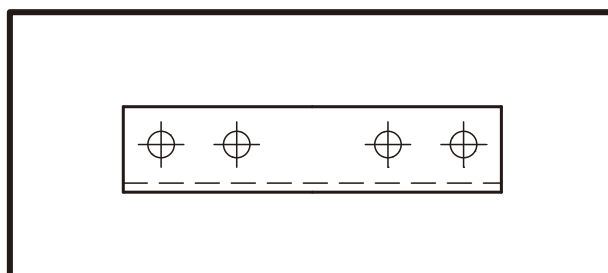


図7-2 30×80 連結部品用下穴

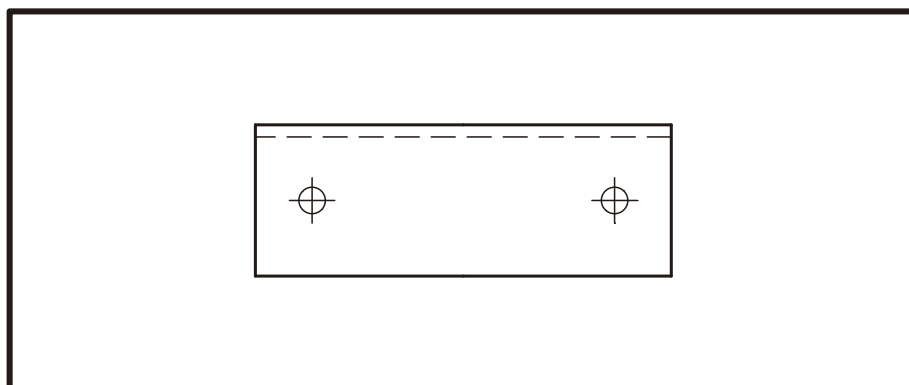


図7-3 50×120 連結部品用下穴

